

2 GPA(グレード・ポイント・アベレージ)

(1) GPA

自らの学業成績の状況を的確に把握して、適正な履修計画とそれに基づく学習に役立てるため、平成18年度入学生からGPAを算出。

(2) GPA対象科目

GPAの対象科目は、①「卒業要件に算入できる科目」であって、かつ②「5段階評価によって成績を認定する科目」とし、③「学生が履修登録した科目」とする。したがって、他学科・他学部聴講科目などは含め、教職・学術情報課程や特別活動プログラムおよび認定科目は除かれる。

GPA対象外科目			
全学共通科目	特別活動(クラブ活動) (一)(二)(三)(四)	学部共通科目	特別講義(一)(二)
	特別活動(国際学生交流活動) (一)(二)(三)(四)	教職課程科目	教職に関する科目
	特別活動(環境マネジメント活動) (一)(二)(三)(四)	学術情報課程科目	学術情報課程全講義科目
	特別活動(ボランティア活動) (一)(二)(三)(四)		

(3) GPAの算出

[学期ごとのGPAの算出方法]

学期ごとのGPA算出は、次の式による。

$$\frac{\text{(当該学期で履修登録したGPA対象科目のGP} \times \text{その科目の単位数) の合計}}{\text{当該学期で履修登録したGPA対象科目の単位数の合計}}$$

注1. GPAは小数第3位を四捨五入し、小数第2位までを表示する。

注2. GPA対象科目で不可(D)および未評価(F)科目は、分母に含む。

注3. 通年科目は後学期に含めGPAを算出する。

注4. 「不可」・「未評価」となった科目を再履修した場合は、再履修した当該学期の対象科目に含め、GPAを算出する。

注5. 前項の場合、「不可」・「未評価」となった学期のGPAは変更しない。

[通算GPAの算出方法]

通算GPAは、在学中に履修登録したすべてのGPA対象科目に基づくものであり、その算出は次の式による。

$$\frac{\text{(在学中に履修登録したGPA対象科目の最新GP} \times \text{その科目の単位数) の合計}}{\text{在学中に履修登録したGPA対象科目の単位数の合計}}$$

注1. 通算GPAは毎学期末に算出する。

注2. 再履修した場合は1科目としてカウントする(ダブルカウントしない)。

注3. 再履修した科目のGPは、最新の評価に基づく値とする。

12 1年次生連絡事項

(1) 全学科 ④英語(一)・(二)

本学部では、クラス分けテストの結果により英語のクラス分けを行っています。このため1年次④英語(一)・(二)については、下記日程のテスト終了後に、確定したクラスで自動的に履修登録されます。確定した英語のクラス分け結果は後日学生ポータルサイトで発表します。なお、英語の教科書はクラス分け発表後に購入して下さい。

【英語クラス分けテスト日程】 学生証、筆記用具持参のこと

日時	4月6日(水) 11:00~12:00			
学 科	生物生産学科	アクアバイオ学科	食品香粧学科	産業経営学科
教 室	8-302	8-401	8-301	8-402

(2) 全学科「基礎数学」「文章表現」、生物生産学科・アクアバイオ学科・食品香粧学科の「基礎化学」「基礎生物」

本学部では、各学科の専門的教育を行ううえで基礎となる補習の科目(リメディアル科目)としてこの4科目を設置しています。

この4科目についてはプレテスト等(下記日程を参照のこと)の結果により指定された学生のみが履修対象となります。なお、基礎数学と文章表現の履修対象者は自動的に履修登録されます。履修対象者については後日学生ポータルサイトにて発表します。

科目	生物生産学科	アクアバイオ学科	食品香粧学科	産業経営学科
基礎数学	自動登録	自動登録	自動登録	自動登録
文章表現	自動登録	自動登録	自動登録	自動登録
基礎化学	各自で登録	各自で登録	各自で登録	
基礎生物	各自で登録	各自で登録	自動登録	

【基礎数学プレテスト日程】 学生証、筆記用具持参のこと

日時	4月13日(水) 16:20~17:50			
学 科	生物生産学科	アクアバイオ学科	食品香粧学科	産業経営学科
教 室	8-302	8-401	8-301	8-402

【文章表現プレテスト日程】

全員初回の講義に必ず出席してください。プレテストを実施します。産業経営学科については、2クラスありますので、4月14日(木)5時限目(16:20~17:50)に8-202教室でプレテストを実施します。

【基礎化学】 生物生産学科・アクアバイオ学科・食品香粧学科対象
全員初回の講義に必ず参加し、担当者より指示を受けてください。

【基礎生物】 生物生産学科・アクアバイオ学科・食品香粧学科対象
全員初回の講義に必ず参加し、担当者より指示を受けてください。

社会調査士資格にチャレンジしませんか？

～産業経営学科 H22(2010)年度入学生より～

社会調査士とは社会調査の知識や技術を用いて、世論や市場の動向、社会事象等をとらえることのできる能力を有する「調査の専門家」のことです。

社会調査士は、一般社団法人社会調査協会（以下、協会）が認定する資格です。協会が定めた標準カリキュラムに対応した社会調査に関する講義の単位を取得した後に協会に申請することで資格を取得することができます。産業経営学科では、平成23（2011）年度より、社会調査士資格制度に参加することになりました。つまり、必要な講義の単位を取得すれば、別途試験を受けなくても資格を取得することができるのです。

協会が定めた標準カリキュラム（A～Gの7科目）に対応した社会調査に関する講義は、2011年度からA、B、C、D、Eの5科目、2012年度からGの2科目を開講します。どの講義が何の科目に対応するかは下の表を参照してください。

社会調査士は『就職が絶対的に有利な資格』『この職業に就くためには必須の資格』とまでは言えません。しかし、この資格を取得すれば、社会調査の専門家として、社会調査を企画・実施・分析を主要な業務とする調査研究機関だけでなく、企業の調査部門（消費者対応や商品開発など）をはじめ、地方自治体、中央官庁など様々な業種・業界で活躍できる基本的スキルが身についていると見なされます。また、「大学の勉強では顧客や消費者のニーズを探るなどの調査方法や収集したデータをしっかり分析することができる能力を身に付け、その資格も取得しました。」と自己PRすることもできます。情報化社会を生きる現代、世の中に溢れている情報を適切に整理・分析できるスキルが身につけていることは、ビジネスパーソンとして求められる素養の一つではないでしょうか。

簡単ではありませんが、大学の講義を履修することで取得できる資格ですので、チャレンジしてみてもどうでしょうか？

※社会調査士の資格は、大学を通して申し込みます（申請手数料も必要になります）。詳しくは対象学生に個別に案内しますが、協会のwebページでも確認することができます。

○社会調査士資格認定科目

産業経営学科において、社会調査士の資格認定を受けるためには、次の講義の単位を取得してください。

科目	内 容	認 定 科 目	開講年次
A	社会調査の基本的事項に関する科目	社会調査論	2年前期
B	調査設計と実施方法に関する科目	統計学：産業経営開講クラス	2年前期
C	基本的な資料とデータの分析に関する科目	オホーツク産業実習：cクラス	2年後期
D	社会調査に必要な統計学に関する科目	経営統計分析	2年後期
E	量的データ解析の方法に関する科目	産業経営学実務演習(一)：aクラス	2年後期
G	社会調査の実習を中心とする科目	社会調査実習	3年前期
		産業経営学実務演習(二)：aクラス	3年後期

※G科目は、同一年度に「社会調査実習」と「産業経営実務演習(二)」をセットで履修した場合に限り、「社会調査士」の資格要件として認められます。

※G科目の履修にあたっては、実習費（現地調査にかかわる交通費、宿泊費などの自己負担）が必要になることがあります。